

### 3 資格の試験・受講科目等の範囲

資料 5 - 3

#### ● 択一試験科目・講習受講科目

※便宜的に下記分野に分類	消費生活専門相談員資格認定試験 (独立行政法人国民生活センター) ※筆記試験科目	消費生活アドバイザー (一般財団法人日本産業協会) ※筆記試験科目	消費生活コンサルタント (一般財団法人日本消費者協会) ※受講科目
1. 消費者問題に係わる知識	・最近の消費者問題と消費者基本法	・消費者問題発生の社会・経済的背景と最近の消費者問題 ・我が国及び欧米の消費者活動の歴史と現状 ・企業の社会的責任と消費者対応 ・商品テストの意義と活用方法及び消費者教育(学校・企業・行政)	・消費者運動の歴史・活動の意義 ・消費者教育の歴史とこれからの消費者教育
2. 消費者行政に係わる知識	・国・地方の消費者行政	・消費者行政の歴史 ・国(各省庁)及び地方自治体の消費者行政の役割、内容、仕組み ・国際機関による消費者保護等の動向	・国における消費者行政の概要 ・地方消費者行政の役割
3. 消費者問題に係わる法律知識	・相談対応に必要な基礎的法律知識(民法) ・消費者契約法 ・特定商取引法 ・割賦販売法 ・製造物責任法 ・訴訟・ADRによる紛争解決手続 ・多重債務問題 ・個人情報保護法 ・金融・保険 ・独占禁止法・景品表示法	・消費者基本法及び取引・契約の適正化、安全性の確保、品質・表示・計量の適正化に関する法令の目的と内容 ・公正・自由な競争の確保に関連する法令の目的と内容及び消費者紛争処理手続に関する諸制度 ・生活環境の保全とリサイクルに関連する法令の目的と内容	・消費者基本法と消費者契約法の概要 ・団体訴権 ・特定商取引法の概要 ・割賦販売法の概要 ・多重債務問題と貸金業法 ・金融商品販売法・金融商品取引法 ・製品安全と法制度 ・電子商取引の関連法 ・食の安全と法制度 ・個人情報保護法 ・医薬品・薬事法 ・民法(消費者相談の対応に必要な知識) ・消費者被害の救済(特定商取引法・割賦販売法) ・景品表示法と消費者 ・訴訟と調停の知識 ・家庭裁判所裁判傍聴
4. 消費生活に係わる経済知識	・価格と流通等 ・金融の基礎知識 ・環境・リサイクル	<p>&lt;経済一般知識&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国経済の発展及び活動の特徴</li> <li>我が国の財政及び資本・金融市場の特徴と問題点</li> <li>景気変動、物価変動の原因と種類及び対策</li> <li>国際貿易、国際収支及び外国為替相場の仕組み</li> <li>需要と供給の仕組み、産業構造の変化、市場経済のメカニズム</li> </ul> <p>&lt;企業経営一般知識&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業の役割、経営原理、経営改革及びコミュニケーション</li> <li>経営分析の手法及び企業経営の課題と対応</li> <li>市場の変化とマーケティング活動及び消費者行動</li> </ul> <p>&lt;生活経済&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家族形態の多様化や国民経済と家計の関係</li> <li>家計の収支構造の変化と資金計画</li> <li>今後の社会構造の変化と生活設計のあり方</li> <li>家計に関する税と社会保障費の負担</li> </ul> <p>&lt;経済統計と調査方法の知識&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査及び調査結果分析の方法</li> <li>経済統計の考え方と特性、種類</li> <li>主たる経済統計の概要</li> <li>経済統計と景気の見方及び国民経済計算の仕組み</li> </ul> <p>&lt;地球環境問題・エネルギー需要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー利用の歴史とエネルギー需給の現状</li> <li>廃棄物処理とリサイクル問題、化学物質の環境問題</li> <li>地球温暖化問題への対応と省エネルギーの現状と対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融商品トラブルと消費者保護</li> <li>金融・保険に関する相談知識</li> <li>環境問題・政策と消費者の役割</li> </ul>
5. 消費生活上の商品・サービスに係わる知識	・食品(健康食品を含む) ・医薬品・化粧品等 ・衣料品・クリーニング ・住生活(欠陥住宅、賃貸借、有料老人ホーム等) ・品質・安全・表示(消費生活用製品安	<p>&lt;医療と健康&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療制度の変遷と現状及び問題点</li> <li>医薬品の安全確保のための法的仕組み</li> </ul> <p>&lt;社会保険と福祉&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会保障制度の現状と課題</li> <li>社会保険の現状と課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品事故に関する対応</li> <li>繊維製品クリーニングトラブルと対応</li> <li>旅行トラブルと旅行業約款</li> <li>広告の見方</li> <li>住宅の契約に関する対応</li> <li>業界団体の消費者対応</li> </ul>

<p>全法等)          ・情報通信サービス          ・その他サービス (旅行、運送等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉制度の発展過程と制度の概要及び公的扶助制度</li> <li>・介護保険制度の目的と仕組み</li> <li>＜余暇生活＞             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人の余暇環境</li> <li>・高齢者を含めた余暇活動への参加動向と地域社会との関係強化</li> <li>・余暇産業の変化と新たな余暇活動への動き等</li> </ul> </li> <li>＜衣服と生活＞             <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣料品の材質、品質、性能、管理方法</li> <li>・衣料品の生産・流通及び表示</li> <li>・衣料品の資源・環境問題</li> </ul> </li> <li>＜食生活と健康＞             <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養素・食品成分の概要と健康との関係</li> <li>・食品需給と輸入食品及び食生活の変化</li> <li>・食品の衛生・安全性と表示問題</li> </ul> </li> <li>＜住生活と快適空間＞             <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の計画・取得・管理方法のあり方</li> <li>・住宅の構造とその特徴及び建築材料の種類と性質</li> <li>・室内環境と住宅設備及び今後の住宅のあり方</li> </ul> </li> <li>＜商品・サービスの品質と安全性＞             <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品・サービスの特質</li> <li>・主要商品・サービスの品質と安全性</li> <li>・製造物責任と被害者救済制度</li> </ul> </li> <li>＜広告と表示＞             <ul style="list-style-type: none"> <li>・広告の役割とあり方</li> <li>・広告規制と監視の枠組み</li> <li>・表示の役割とあり方及びその法的仕組み</li> </ul> </li> <li>＜暮らしと情報＞             <ul style="list-style-type: none"> <li>・暮らしにおける電子情報化</li> <li>・電子情報社会を支える技術、ルール及びセキュリティ対策等</li> <li>・暮らしにおける電子情報化の今後の展開と問題点</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険のシステム (生命保険・損害保険)</li> </ul>
---	--	--

● 論文試験

	消費生活専門相談員資格認定試験 (独立行政法人国民生活センター)	消費生活アドバイザー (一般財団法人日本産業協会)	消費生活コンサルタント (一般財団法人日本消費者協会)
論文試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2つのテーマから1つを選択し、指定語句 (4～5つ) を全て用い、1000字以上、1200字以内で論文にまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験は次の2グループに分け、それぞれのグループより1題ずつ選択し、合計2題論述する。</li> <li>・1題あたりの試験時間は60分。字数は800字以内。</li> <li>＜第1グループ (4題)＞             <ul style="list-style-type: none"> <li>①消費者問題、②行政知識、③法律1 (特商法関連)、④法律2 (消費者法関連)</li> </ul> </li> <li>＜第2グループ (4題)＞             <ul style="list-style-type: none"> <li>①経済一般知識、②企業経営一般知識、③生活経済、④地球環境問題・エネルギー需給</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者問題に対する考え方、調査研究を通して、修了論文を作成・発表。</li> <li>・複数課題のテーマ群から合計4テーマを選択して、レポートを提出。</li> </ul>

● 面接試験

	消費生活専門相談員資格認定試験 (独立行政法人国民生活センター)	消費生活アドバイザー (一般財団法人日本産業協会)	消費生活コンサルタント (一般財団法人日本消費者協会)
面接試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1次試験の出題範囲についての学識及び消費生活専門相談員として業務を遂行するための適性の有無を判定。</li> <li>・次のいずれかに該当する者は、推薦状の提出により第2次試験が免除。             <ul style="list-style-type: none"> <li>①地方公共団体等において現に消費生活相談員として勤務している者</li> <li>②認定後3カ月以内に消費生活相談員として採用されることが決まっている者</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誠実、円満に加え、秘密保持等の資質、消費生活アドバイザーとして相応しい態度、積極性、見識等について審査。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者選考時に面接を実施。(主に意欲、積極性、協調性をしっかりもっているかを審査)</li> </ul>

● 実務研修等

	消費生活専門相談員資格認定試験 (独立行政法人国民生活センター)	消費生活アドバイザー (一般財団法人日本産業協会)	消費生活コンサルタント (一般財団法人日本消費者協会)
実務研修等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実務経験の無い者に対して4日間の研修実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(実務・実習)</li> <li>・消費生活相談と相談員の心構え</li> <li>・苦情相談事例の討議・発表 (グループ) 及びロールプレイング</li> </ul>